

自分なりの表現で運動課題に対する解決策を伝え合う児童の育成

他者との伝え合いを活発にするための指導の工夫を通して

特別研修員 体育 武田 健太郎 (小学校教諭)

【児童の実態】

体育の授業で、友達と話し合う機会があまり多くないと感じている児童が多い

体育の授業で、運動のポイントや解決策を、自信をもって友達と話し合うことが苦手と感じている児童が多い

【教師の願い】

児童同士が気付きや分かったことを伝え、学び合う機会を増やしたい

自信をもって友達と運動のポイントや解決策を伝え合えるようにさせたい

【国が示す体育の目標から】

運動についての課題を見付け、その解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う

【はばたく群馬の指導プラン から】

「思考、判断したことを他者に伝えることを重視」する

【手立て1】～個人への手立て～

運動経過図と学習記録とを一体化した学習資料の工夫

学習資料

走り高飛び学習資料 【キーワード】を参考に、友達と協力してポイントを見付けよう！

①助走 ②踏み切り ③空中での動き ④着地



運動のポイントとなる局面を示した運動経過図

1 【助走】(リズム)【歩数】	2 【跳】(踏み切り位置)【姿勢】	3 【体の上げ方】(足裏の向き)【踏み切り足】	4 【着地の仕方】(位置)
<ul style="list-style-type: none"> 5～7歩くらい なるべく少なく 小まだににならない だんだんスピードアップ ななめから入って 	<ul style="list-style-type: none"> 腕を振って体を上に 足の裏で強く床をける 音が鳴るように 踏み切りをゴムの近くで 		

児童が見付けた運動のポイントやアドバイスを記した学習記録

学習資料に書いたポイントを思い出して、踏み切りまでのリズムを手拍子で表現してあげよう！



手拍子によって踏切のリズムを表現する様子

運動経過図をまねして、身振りで友達に自分が意識した体の動かし方を表現してみよう！



踏切時の腕の使い方を身振りで表現する様子

他者との伝え合いを活発にする指導の工夫

【手立て2】～集団への手立て～

運動のポイントやアドバイス、他者の運動のよさを交流するための壁面資料を活用した学習形態の工夫

児童間の交流規模の変化

小グループ

個々の学習資料を基にして、児童が互いの運動を見合う中で発見したことを交流するための集団



友達の空中での姿勢を観察する児童の様子

氏名を書いた付箋紙を貼り、小グループで個々の課題を共有発見したポイントやアドバイスなどを色付き付箋紙で貼付



運動のポイントとなる場面を6枚の連続写真で示した壁面資料



〇壁面資料を通して、二つの小グループがそれぞれ発見したポイントやアドバイスを共有

中グループ

より多様な意見や新たな気付きを交流するための集団



中グループで踏切の課題を解決するために交流をする様子

【目指す児童像】 自分なりの表現で運動課題に対する解決策を伝え合う児童

友達と一緒に運動して考えたことを伝え合うことができた！
自信をもって友達と運動のポイントや解決策を交流できた！



成果 () と課題 ()

学習資料を個々の児童に用意することで、運動経過図を参考にしながら自身の運動感覚に基づく身振りや自分なりの感覚的な言語表現、例示を用いた運動のポイントやアドバイスを積極的に交流するなど、伝え合いが活発になった。

- 〇 壁面資料を二つの小グループに一つ用意することで、実際の交流は小グループでしながらも、一方の小グループが発見したアドバイスを、他方の小グループが参考にして運動したり、課題解決の場を共有する中グループとしてアドバイスし合ったりして、児童同士の伝え合いの活性化につながった。交流の場面では、運動経過図や壁面資料から一部の動作を切り取り、アドバイスをすることが見られ、運動の連続性に意識が向きにくくなってしまったことがあった。目的とする動作に達するために、事前の動作をどうするか、教師が具体的な発問を児童に行い続けることが必要であると考えた。